

【教材見本】

財務諸表論

一問一答・要点チェック問題

ホームページ用に第3章「概念フレームワーク(後半)」を抜粋。

＜本教材見本に含まれるもの＞

第1節 財務諸表における認識と測定その1（一般的要件と要点）（P2）

第2節 財務諸表における認識と測定その2（資産の測定）（P3～P4）

第3節 財務諸表における認識と測定その3（負債の測定）（P5）

第4節 財務諸表における認識と測定その4（収益費用の認識測定）（P6）

(注) 消去した罫線が陰に残って見えますが、製本した教材では完全に消えて見えなくなります。

《第1節の一問一答・要点チェック問題》

	要点チェック問題	☑	解答・解説
1	認識の一般的条件を挙げよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認識の契機 ・認識が認められる蓋然性（一定程度の発生可能性）
2	通常の場合と金融商品（売買目的有価証券）の場合の認識の契機を述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の場合：双方履行ないし契約の部分履行 ・金融商品（売買目的有価証券）の場合：双方未履行
3	資産の測定の要点を述べよ。		<p>解答</p> <p>投資の形態に応じて、測定値が決定される。</p>
4	収益費用の認識の要点を述べよ。		<p>解答</p> <p>いつ、どのように収益費用を計上するか、特にいつ投資のリスクから解放されたかに着目して認識が行われる。</p>
5	<p>投資の形態について、次の間に答えなさい。</p> <p>①取得原価で測定した場合、どのような投資の形態と結び付くのか？</p> <p>②正味売却価額で測定した場合、どのような投資の形態と結び付くのか？</p> <p>③再調達原価で測定した場合、どのような投資の形態と結び付くのか？</p> <p>④市場価格で測定した場合、どのような投資の形態と結び付くのか？</p> <p>⑤割引価値で測定した場合、どのような投資の形態と結び付くのか？（但し、事業用固定資産を対象とする。）</p> <p>⑥取得原価基準は、どのような投資の形態と整合するのか？</p> <p>⑦時価基準は、どのような投資の形態と整合するのか？</p>		<p>解答</p> <p>①・投資の継続。</p> <p>②・販売予想時点の場合＝投資の継続 ・決算時の場合＝投資の清算</p> <p>③・投資の清算・再投資</p> <p>④・投資の清算・再投資</p> <p>⑤・投資の継続（自己創設のれんが生ずる場合と生じない場合の両方）</p> <p>⑥・投資の継続</p> <p>⑦・投資の清算・再投資</p> <p>解説</p> <p>⑦について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売買目的有価証券のような金融資産、企業結合や連結会計の時価評価はいずれも清算・再投資を想定している。

《第2節の一問一答・要点チェック問題》

	要点チェック問題	☑	解答・解説
1	狭義と広義の取得原価を挙げよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭義の取得原価＝原始取得原価 ・広義の取得原価＝未償却原価も含むもの
2	取得原価と結び付く投資の行動を挙げよ。		<p>解答</p> <p>投資の継続</p>
3	未償却原価による測定値の意味を述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来に回収される投資の残高。 ・この測定は、資産価値の測定方法としてよりも、資産の利用に伴う費用を測定するうえで重要な意味を持つ
4	時価に含まれる2つの市場価格を指摘せよ。		<p>解答</p> <p>観察可能な市場価格(実際に市場が存在する場合)と推定された市場価格</p>
5	市場価格はいかなる資産価値を表すのか。		<p>解答</p> <p>市場平均の期待価値</p>
6	取得原価と市場価格の関係を述べよ。		<p>解答</p> <p>独立した第三者間の取引では、資産取得に際しての支出額は、そのときの市場価格と大きく乖離しないという関係(等価の原則、原価即価値説)</p>
7	再調達原価と正味売却価格の意義を述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再調達原価は、購買市場と売却市場とが区別される場合において、購買市場で成立している価格。 ・正味売却価格は、購買市場と売却市場とが区別される場合において、売却市場で成立している価格から見積販売経費を控除したもの。
8	利用価値はいかなる資産価値を表すのか。		<p>解答</p> <p>報告主体の主観的期待価値</p>
9	利用価値には、測定時点の市場価格と何が含まれているのか。		<p>解答</p> <p>のれん</p>
10	財務諸表作成上、利用価値はどのような場合に使用できるのか。		<p>解答</p> <p>固定資産の減損処理</p>
11	市場価格を推定するための割引価値はいかにして算定されるのか。		<p>解答</p> <p>市場で平均的に予想されているキャッシュ・フローを市場の平均的な割引率で割り引いた測定値</p>

	要点チェック問題	<input checked="" type="checkbox"/>	解答・解説
12	概フレでは、償却原価法を用いる際、信用リスクをいかに考慮するのか。		<p>解答</p> <p>償却原価法において用いられる将来キャッシュ・フローは、<u>回収可能性を反映する</u>ように見積もるという方法で、信用リスクを考慮している。</p>
13	被投資企業の純資産のうち、投資企業の持分比率に対応する額として特に重要な処理方法を挙げよ。		<p>解答</p> <p>持分法</p>

《第3節の一問一答・要点チェック問題》

	問題	☑	解答・解説
1	支払予定額により測定されるものを2種類挙げよ（異なる性質のもの）。		<p>解答</p> <p>借入金 引当金</p>
2	支払予定額により測定したとみても、また現金受入額により測定したとみても同じものを一つ挙げよ。		<p>解答</p> <p>借入金</p>
3	現金受入額によってのみ測定される負債を2つ挙げよ。		<p>解答</p> <p>前受金と前受収益</p>
4	リスクフリー・レートによる割引価値とリスクを調整した割引率による割引価値の違いを述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクフリー・レートによる割引価値は信用リスクを考慮していない割引率を使用する ・リスクを調整した割引率による割引価値は信用リスクを考慮した割引率を使用する

《第4節の一問一答・要点チェック問題》

	要点チェック問題	☑	解答・解説
1	リスクからの解放の意義を述べよ。		<p>解答</p> <p>投資にあたって期待された成果が事実として確定すること。</p>
2	狭義の実現、広義の実現、最広義の実現とリスクからの解放との関係（包含関係）を述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭義の実現基準（＝交換）はリスクからの解放に含められる。 ・広義の実現基準（＝交換＋市場の時価変動＋契約の部分履行＋被投資企業の活動）はリスクからの解放と同じ。 ・最広義の実現（＝実現可能性基準＝広義の実現基準＋その他の包括利益）はリスクからの解放よりも広い。
3	交換、市場における時価変動、契約の部分履行、被投資企業の活動について、リスクからの解放の要件を述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換 ＝①財・サービスの引渡しと②対価の獲得 ・市場における時価変動 ＝①随時換金可能な市場がある、②売却・換金を目的とする、③売却・換金することに事業遂行上の制約がない ・契約の部分履行 ＝①契約がある、②財やサービスの一部提供し、契約の部分的な履行がなされた ・被投資企業の活動 ＝①被投資企業と投資企業との間に一体性を見出せる、②被投資企業が利益を獲得する
4	費用配分の意義と費用配分が妥当する場合を述べよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ定められた計画にしたがって、資産の取得原価を一定の期間にわたって定期的に費用に配分するもの（計画的・規則的な費用計算）。 ・物量的な減少が見出されない場合は、費用配分が妥当する。